

拝啓 今年も早や2月末となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。新型コロナ流行のために、遠くへ出かけることがほとんどなくなりましたが、朝、昼の散歩は毎日励んでいます。私の住んでいる港北ニュータウンには、長い緑道があります。横浜市営地下鉄のセンター北駅と仲町台駅の間に河津桜が20-30本植わっているところがあり、先日(2月19日)咲いているかどうか見に行きましたところ、既にほとんど満開でした。河津桜は、早咲きの桜で、2月中・下旬に咲くようですが、本場の伊豆半島河津町では、今頃きれいに咲いていることでしょう。

今回は佐生健光さんの『キリスト教と称名』の第12回です。佐生さんは、丹念に聖書の中に称名が出ている個所を探してくださり、旧約聖書の中に、律法の流れに対して称名の流れが生まれていることを発見して下さいました。今回、旧約聖書から引用して下さいた書は、エレミヤ哀歌、ヨエル書、ゼファニア書からですが、小西先生がいつも引用されるロマ書10章13節の「主の御名を呼び求める者はすべて救われる」という言葉は、ヨエル書からの引用です。

毎日朝と昼、散歩をしています。散歩のときは、お祈りの時間と考えて、小西先生のお祈りに倣い、信仰の先生方、家族親族、親しかった先輩友人方、信仰の仲間等の名前を心の中で、「我が主イエスよ」と併せて、称えながら散歩をすることにしています。また、雲間から太陽の光線、木漏れ日、池や流れの面の太陽光の反射、自動車や手すりの太陽光の反射などに向かって歩き、靈感を頂くようにしています。内村鑑三先生も南原繁先生も小西芳之助先生もよく散歩をされましたが、散歩はお祈りの時間であったに違いないと思っております。また、内村鑑三先生は、自然から学ぶことが多いという趣旨の文書を書かれていますが、散歩により、自然から学ぶようになりたいと思います。

散歩コースの中に、丹沢、富士山、北岳・間ノ岳、大菩薩、秩父の山々などがよく見える場所があります。そのそばに、ハウス・スクエアという4階建ての建物があり、4階西側のベランダに行きましたら、箱根、丹沢、富士山、間ノ岳・北岳、大菩薩、奥秩父、雲取山、武甲山など、大パノラマが見える場所を発見し、感激しました。その日は、奥秩父の国師岳・金峰山も見えていることを確認しました。20年以上もここに住んでおりながら、近くにそんな素晴らしい展望台があるのを見落とししていました。

緊急事態宣言が出されている間は、高円寺東集会の集会場として東大YMCAが借りられないので、ズームで集会を始めましたところ、遠くの友人も参加してくれて、かえって盛会になりました。特に中学時代からの古い友人田渕謹也君が参加してくれて大変うれしく思いました。論語の「朋あり遠方より来る、また楽しからずや」を思い出しました。

新型コロナの流行は、大半の国民にワクチンが注射されるまで、まだ当分続くように思います。どうぞ皆様もご注意されて、マスク、手洗い、うがいなどを励行されまして、お体には十分ご注意下さるよう、お祈り申し上げます。

2月24日

山口周三

エンカウターの読者各位